

**フィジー大卒女性協会：女兒のSTEM教育キャンプとメンター活動に向け資金獲得**

フィジー大卒女性協会（GWF）は先頃、メンター活動を通じて女性と女兒のエンパワーメントを進め、理系の教育や職業に結びつけることを促す【プログラムに対し】豊富な資金を獲得した。

3月1日にフィジー共和国のイギリス高等弁務官であるメラニー・ホプキンスが [GWF Vital Voice Mentoring Programme](#) を支援する助成金交付にサインした。そのプログラムは、様々なグループや運動に関わる女性リーダーたちを擁して女性リーダーの育成を刺激するメンター活動を組織化しようとするものである。更に、国際女性デーの前日にはフィジー女性基金が11の民間女性団体への助成金交付を発表した。GWFも11の受領団体のひとつに選ばれたが、その資金を利用して女兒のための新しい理系教育キャンプを2019年4月に開催予定である。フィジーの女性と女兒のエンパワーメントに関する際立った仕事と絶え間ない献身に対してGWIはGWFに祝辞を述べる。

**GWI、第40回国連人権理事会への声明文で高等教育機関のSDG実施に関する影響力を強調**

GWIは3月22日まで国連ジュネーブ事務局で開催中の第40回国連人権理事会（HRC）に共同声明文を提出した。カナダ大学女性連盟と大卒女性USAとともに署名された声明文は高等教育機関がSDGsの実施に及ぼす重要な影響力を強調する。この声明文はSDGの目標の4つめ、「包摂的で質の高い教育を保証し、全ての人に生涯学習を促進すること」と5つめ、「ジェンダーの平等を達成することとすべての女性と女兒のエンパワーメントを図ること」を強調している。理事会への勧告には、高等教育機関向けに国および地域レベルで持続可能な開発フォーラムを創設すること、大学1年生に対してSDGsに関する必修コースをカリキュラムに追加するために大学と協働すること、SDGsに関する学際的な学びの創出を促進することなどが含まれている。全文は[ここ](#)をクリック。